

第25回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー 予想外の渋滞に巻き込まれた「三方五湖」

去る9月20日(日)、第25回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー「三方五湖の旅」を開催しました。久々のバスツアーで、初めてご参加いただいた方々を含め16名、そしてお馴染みの添乗員の海鷗トラベル 行澤さんとともに、参加者からの評判が良い「さやま交通」のリフト付観光バスで森ノ宮を出発しました。ところが、秋晴れの当日は、5月の「ゴールデンウィーク」に対し、今年からできた「シルバーウィーク」と呼ばれる大型連休の2日目であり、しかもこの春に高速道路料金の値下げした影響で一般道も含め、行楽地などに向かう車が至るところで数珠つなぎでした。

＜当日の旅行コース＞

9:00 森の宮 ⇒ 13:30 三方五湖 ホテル水月花(昼食) 15:00 三方五湖遊覧 ⇒ 13:00
⇒ 13:20 農産物販売所(若狭三方縄文博物館) 17:00 ⇒ 21:30 森の宮着

自然に囲まれた三方五湖

バスは、森ノ宮を出発し、阪神高速、中国自動車道、そして舞鶴若狭自動車道を通り、三方五湖へ。途中、トイレ休憩しましたが、通常、三方五湖まで3時間ぐらいで到着するところ、1時間半も余分にかかり、当初乗船する予定だった遊覧船も車中で見送った後、13時過ぎにやっと「若狭町営観光ホテル『水月花』」に到着しました。

到着後すぐに昼食。昼食時間が大幅にずれ、極度の空腹状態になっていた参加者は、中には自腹でアルコール類を注文する人もいますが、地元で獲れたと思われる新鮮な刺身等を、暫くは食べる事に専念しました。

ホテル横の棧橋から、今回のメインの三方五湖遊覧



船に乗りました。その三方五湖は、三方湖、水月湖、菅湖(野鳥の宝庫といわれている)、久々子湖、日向

湖の五湖で、しかも、淡水、汽水、海水とそれぞれ違った性質を持ちながらすべてつながっています。山に囲まれ、静けさの中を船は五湖を周って行き、デッキにいますと湖上に吹く初秋の風が肌寒く感じました。



希望者のみ行った『若狭三方縄文博物館』

農産物販売所に行き、そこから徒歩で『若狭三方縄文博物館』に希望者のみが行きました。閉館時間が迫っていたので駆け足で見学したが、若狭町に縄文時代の遺跡が数多くあるみたいで、縄文土器や土偶等が多数展示され、発掘そのままの姿が真下で見ることができました。建物自体も怪しげさを漂っていました。

帰路は恒例のビンゴゲームをし、毎行澤さんがご用意して下さる景品を楽しみに盛り上がりました。

往路と同じように復路も渋滞に巻き込まれることを見込んで、ドライバーが機転をきかせて、迂回路で帰りましたが、やはり1時間半の遅れて21時半頃に森の宮に到着しました。

こんなに高速道路が渋滞するとは企画の段階では想像していませんでした。やはり大型連休の遠出は無理があることがわかりました。今後この教訓を活かしていきたいと思えます。